

入院のご案内



東京リハビリテーションセンター世田谷
世田谷リハビリテーション病院

世田谷リハビリテーション病院 回復期リハビリテーション病棟

特徴

回復期リハビリテーション病棟は、病気やケガで行えなくなった日常生活動作を、医学的・社会的・心理的に専門職種がチームでサポートし、自宅や社会へ戻っていただくことを目的とした病棟です。

対象疾患と入院期間

	対象疾患	病棟に入院できる期間
1	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症又は手術後、義肢装着訓練を要する状態	150日
	高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位損傷	180日
2	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節もしくは膝関節の骨折又は二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	90日
3	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により生じた廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	90日
4	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	60日
5	股関節又は膝関節の置換術後1ヵ月以内の状態	90日

入院費用について

		医療費	食事代 (1食につき)	
69才 まで	区分ア	252.600円 + (医療費 - 842.000円) × 1%	+ 460円	+ 差額ベッド料 + 保険外自己負担 (+ 65歳以上は別途 居住費が1日あたり 370円掛かります。)
	区分イ	167.400円 + (医療費 - 558.000円) × 1%		
	区分ウ	80.100円 + (医療費 - 267.000円) × 1%		
	区分エ	57.600円		
	区分オ	35.400円		
70才 から	現役並所得者Ⅲ	252.600円 + (医療費 - 842.000円) × 1%	+ 460円	
	現役並所得者Ⅱ	167.400円 + (医療費 - 558.000円) × 1%		
	現役並所得者Ⅰ	80.100円 + (医療費 - 267.000円) × 1%		
	一般	57.600円		
	低所得者Ⅱ	24.600円	+ 210円 (※1)	
	低所得者Ⅰ	15.000円	+ 100円	

(※) 入院91日目からは160円となります。

入院に必要な持ち物

証書・書類など

- 診察券(お持ちの方)
- 健康保険証、その他公費受給者証
 - * 労災・交通事故でご入院の場合もお持ちください
- 限度額認定証
(事前に手続きが済んでいる方)
- 身体障害者手帳・介護保険証
(お持ちの方)
- 印鑑(シャチハタタイプではないもの)
- 入院保証金5万円(現金)
- 入院のご案内(このパンフレット)
- 入院申込み兼誓約書
- 特別療養環境室(特別室)説明書兼同意書
- 保険外負担に関する説明及び同意書(テレビ、冷蔵庫)

入院中の医療機関にご準備 いただくもの

- 診療情報提供書
- 疾患部位と急性期病院入院
中に撮影した画像データ
- 看護サマリー
- リハビリサマリー
- 退院証明書
- 内服薬

必要物品

- お薬手帳
- パジャマ・タオル・バスタオル(リース有り)
- 日中着(リース有り)
- 下着・靴下
- 運動靴: かかとが覆われた、履きなれた滑りにくいもの
 - * スリッパ・サンダル、クロックスタイプはご遠慮ください
- 洗面用具(歯ブラシ、歯磨き粉、コップ、洗顔フォームなど)
- 入れ歯と入れ歯ケース(入れ歯のある方)
- その他日用品(ボディーソープ、シャンプー、リンス、ティッシュペーパー
ウェットティッシュなど)
- テレビ用のイヤフォン(テレビをご覧になる方)

**** 全ての持ち物に名前をご記入ください ****

日中着について

目的

- ・生活リズムを整えるため、寝巻から着替えをしていただきます。
- ・着替えを通じて日常生活に必要な力を高めていきます。
- ・運動や外出などに備え、動きやすい服装をお願いしています。

リースの日中着

自宅から持ってこれない方や洗濯をご家族に依頼できない方向けにレンタル衣服もご用意しています。

枚数は毎日着替えられ、予備が1枚あるように、ご準備ください。

- ・ジャージ上下セット 1日480円(税抜)
- ・パジャマ、タオルセット 1日340円(税抜)



売店「うめとぴあ」

スウェット上下 2700円
パジャマ上下 2700円

※上記値段で販売もしております

下記のものはご遠慮ください



革靴



スリッパ



サンダル



ジーンズ



スカート



浴衣



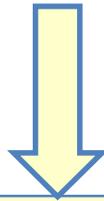
ステテコ
モモヒキ

*ステテコ・モモヒキは下着としての着用は可能です。ステテコ姿・モモヒキ姿での活動はご遠慮ください。

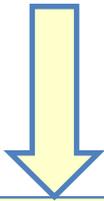
入院中の生活について

入院から退院までのながれ

【入院時評価】 評価や検査を行った後、治療プログラムを検討していきます。



【入院時オリエンテーション】 病棟生活の案内、1日の過ごし方を説明します。



【リハビリテーション】 365日体調に合わせて、最大3時間の充実した時間を提供します。

【回診】 患者さんの現在の状況をチームで把握します



【カンファレンス】 今後の目標を検討します

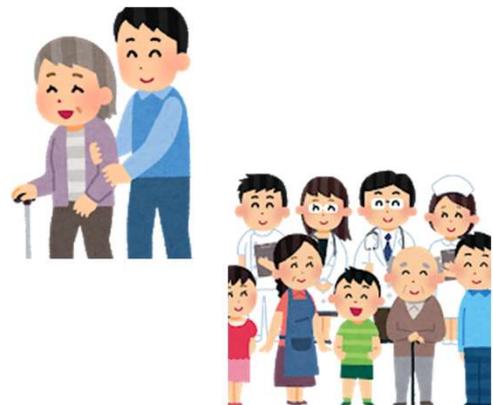
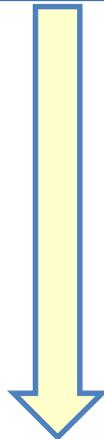
【家族面談・相談】 退院後の生活について助言をすることや生活介護の手配をします。

【介助指導】 ご家族に向けて行います。

【家屋調査】 お住まいの環境を拝見します。

【屋外訓練】 公共手段を利用して行います。

【退院後指導】 退院後の生活介助を助言します。



【退院】 生活の質を高めて帰れるように支援します。

入院中の一日のながれ



入院中に守っていただきたいこと

1. 食事について

食事は治療に応じて病院で調理したものをお召し上がりください。医療保険制度に基づく自己負担金があります。

- ・アレルギー等で召し上がれないものがある場合は担当医、看護師にお申し出ください。
- ・一部の治療食を除き、朝食のパン食、昼・夕食にパン食・めん食を選択することができます。ご希望の方は病棟スタッフまでお申し出ください。
- ・お食事の内容・量・形態などに不安がある方は、担当医、看護師、管理栄養士にお申し出ください。



2. 消灯時間について

21時から6時は消灯時間となっております。他の患者様のご迷惑とならないようご配慮ください。



3. シーツ交換について

週に1回交換します。汚れた場合は随時交換しますので、お申し出ください。



4. シャワー浴・入浴について

シャワー浴や入浴もリハビリの一環です。体調に合わせて、週2～3回計画的にご案内します。お風呂の種類は4種類ご用意しています。

5. 洗濯について

原則ご家族に行っていただきます。ご家族でのお洗濯が困難な場合、1ネット2kgまで600円で利用できる洗濯サービスがございます。ご使用には別途契約が必要となります。病室内での洗濯物の乾燥はご遠慮ください。コインランドリーは1台ございます。

6. 携帯電話について

マナーモードに設定してご使用いただくようお願いします。通話はデイルームなど通話可能エリアでご使用ください。

7. 貴重品について

床頭台のセーフティーボックスを、ご利用ください。また、必要以上の貴重品はお持ちにならないようお願いします。

- ・紛失、盗難についての責任は、負いかねます。
- ・入れ歯、補聴器、眼鏡、杖、車イス、腕時計をお持ちの方は看護師までお知らせください。



8. タバコ・アルコールについて

館内および敷地内は全面禁煙・禁酒となっております。タバコ・アルコール類の持ち込みは禁止です。

9.外出・外泊について

主治医の許可が必要になりますので、必要時ご相談ください。



10.付き添いについて

入院中の付添いは当院では必要ありませんが、患者様の状態などにより、医師が必要と認めた場合はご家族の付添いが許可されます。病棟師長と相談の上「家族付添申請書」をご提出ください。

付添いの寝具は、貸寝具がございます。別途契約が必要となります。

11.その他

- ・患者様の症状に応じて、病室や病棟の移動をお願いすることがあります。ご理解とご協力をお願いいたします。
- ・故意に当院の備品等を破損・紛失、他の患者様や職員への迷惑行為(セクシャルハラスメント・暴力行為など)、無許可での写真・動画の撮影は固くお断りします。
- ・アレルギー予防・感染防止のため、生花の持ち込みは、ご遠慮ください。
- ・職員に対するお心遣いは、ご遠慮ください。



館内のご案内

館内に以下の施設・設備がございます。

1F 売店「うめとぴあ」 月～土 9:00～17:00

日祝日 休み

3F デイルームに給茶器がございます。

患者様の安全について

1. リストバンドについて

入院中は患者様の氏名やID番号を記載した、リストバンドの装着をお願いしています。入院中のあらゆる場面で、リストバンドの確認や氏名のフルネームで名乗っていただく確認をしておりますのでご協力ください。

2. 転倒やベッドからの転落防止について

- ・足のサイズにあった滑りにくい履物をご使用ください。
- ・床が濡れていると滑って危険です。すぐにスタッフにお知らせください。
- ・ベッドからの転落防止のためにベッド柵をしておやすみください。
- ・危険ですので、ベッド周辺の床に物を置かないようご協力ください。

安全のために以下のことにご注意ください



起き上がったらずぐに動かず、一息ついて、両足をしっかり床についてから動いてください。



ベッド柵をあげましょう。リモコンを操作する際など、ベッド柵やナースコールのコードに身体を挟まないでください。



ベッドの上に立ち上がらないでください。



車椅子は深く座りましょう。浅く座り、背もたれに持たれすぎると、前に滑りおちたり、車椅子が後ろに倒れるなど危険です。



車椅子を動かすときには、足を足台に乗せてください。また、足台に足を乗せたまま、立ち上がろうとしないでください。



止まっているときは、ブレーキをかけてください。



履きなれたかかとのある、滑りにくい靴を履きましょう。



濡れた床や段差に注意してください。



点滴スタンドやオーバーベッドテーブルなどタイヤの付いたものは動きません、頼りにしすぎないでください。

世田谷リハビリテーション病院 相談室のご案内

当院には医療福祉専門の相談員（ソーシャルワーカー）が社会福祉の立場から、患者様やご家族様からのご相談を承っております。

入院生活に関する心配事について

社会保障制度の情報と紹介について

退院後の生活不安について

介護保険等の社会制度の利用について

医療機関や福祉施設の情報と紹介について

医療費や生活費等、経済的な問題について

地域の福祉サービスに関する情報について

ご相談いただいた内容につきましては、相談者の許可無しに、第三者へ漏れることはありません。
お気軽に近くのスタッフまでお声がけください。

東京リハビリテーションセンター世田谷 世田谷リハビリテーション病院

地図

東京リハビリテーションセンター世田谷 案内図



公共交通機関

電車：小田急小田原線 梅ヶ丘駅下車 徒歩5分
豪徳寺駅下車 徒歩9分
東急世田谷線 山下駅下車 徒歩9分
京王井の頭線 東松原駅下車 徒歩9分

南東北グループ

東京リハビリテーションセンター世田谷
世田谷リハビリテーション病院

〒156-0043 東京都世田谷区松原6丁目37番1号

電話：03-6379-0427

FAX：03-6379-1433